被災者へ救援支援物資、義援金、市への寄付金

熱い支援に感謝

東日本大震災で大きな被害を受けた本市に、多くの義援金と市への寄付金が全国各地から寄せられました。

4月11日～5月10日までに受け付けた分は次のとおりです。（敬称略）熱い支援ありがとうございます。

救援支援物資

■県外■

【東京都】▼楽天市場の支援活動「楽天たすけ愛」

【静岡県】▼渡辺寿子

■県内■

【企業・団体】▼社会福祉法人いわて育心会

義援金

■県外■

【千葉県】▼関口英行

【神奈川県】▼神林洋行

【兵庫県】▼岸川嘉明

【島根県】▼桔梗和夫

■市内■

【企業・団体】▼河北体育協会▼らーめんの千草募金箱

■口座振替■

【個人】▼コバヤシ・トラオ

寄付金

■県外■

【埼玉県】▼城野口有吉

【東京都】▼小金井市観光協会第58回桜まつり実行委員会

【愛知県】▼小島國男

【その他】▼匿名1件

■県内■

【盛岡市】▼㈱あさ開

■市内■

【団体】▼バプテスト久慈教会（アレン記念教会）

久慈市に寄せられた義援金は5月10日現在、1023件、8340万9428円となっております。

募集 義援金ご協力を

市では、久慈市地震災害義援金を募集しています。この義援金は市内の被災した方々に分配されます。皆さんのご協力をお願いします。

▼受付期間

平成25年3月31日まで

▼受付場所（現金）

①社会福祉課（市役所1階）

②山形総合支所

③各支所（宇部、侍浜、山根）

▼その他の受付方法

①現金書留…宛先はこちら

〒028―8030

久慈市川崎町1番1号

久慈市役所社会福祉課

②口座振込…入金前に社会福祉課までご連絡をお願いします。振込先はこちら

岩手銀行久慈中央支店

普通預金2057188

久慈市地震災害義援金

問社会福祉課 ☎52―2119

災害弔慰金について

災害弔慰金は、自然災害により死亡（または行方不明）された方のご遺族に対し、被災の際に居住していた市町村から支給されるものです。津波や建物の倒壊など震災に起因して死亡していない場合でも、避難所生活の継続などにより体調を崩して死亡した等、いわゆる「災害関連死」として判定された場合にも、災害弔慰金が支給されます。

詳しくはお問い合わせください。

支給対象及び支給額

生計維持者が死亡　500万円

生計維持者以外が死亡　250万円

問社会福祉課 ☎52―2119

※可能な限り、支援者からの申し出などに基づいて掲載しましたが、名称などに間違いがあることも考えられます。申し訳ございませんが、ご了承くださいますようお願いいたします

TOPICS 支援関係

池さん（左）の説明を聞き縫い進める参加者

復興願う応援雑巾―

新潟県新潟市を拠点に活動する刺し子愛好家グループ「チクチクちく針仕事の会」（池晶子主宰）から応援雑巾1,000枚が、あーとびる麦生（熊谷行子理事長）に届けられました。

応援雑巾は、色とりどりの木綿糸で縫われたもの。3歳から90歳代まで、同会の被災地支援活動に賛同した全国の数百人が復興への願いを込めて作成しました。

5月12日と13日には、池さんらグループのメンバーがあーとびる麦生を訪れ、雑巾作りワークショップを開催。和やかな雰囲気の中、参加者はチクチクとカラフルな雑巾やコースターを縫い上げました。

TOPICS 復興関係

N響メンバー演奏会

美しい旋律で復興を願い

東日本大震災からの復興を祈念して「N響メンバーによる演奏会～こどもの日特別コンサート～」が5月5日、アンバーホールで開かれ、会場には家族連れを中心に約300人が訪れました。

演奏を始める前、市文化会館の永峰高志芸術監督・館長（NHK交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者）は、「緊張しないで楽しんで聴いてください」と観客を和ませました。

コンサートで演奏された曲目はディズニーの音楽など子どもに馴染みの楽曲を中心としたもの。演奏する楽器や作曲者の話を交えながら進められました。4人の一流奏者による美しい旋律が披露され、会場内は復興を願うやさしい空気に包まれました。

上／大人から子どもまで多くの観客が来場

下／曲と曲の合間には、永峰館長から、楽器や作曲者のエピソードが語られました

TOPICS 支援関係

送られたピアノを演奏する奥寺美里さん

グランドピアノを寄贈

きれいな音色大切に使いたい

宮城県を中心に、被災地の学校等へピアノの寄贈を行っている「被災地へピアノをとどける会」（庄司美知子委員長）から4月24日、夏井中学校（齋藤眞理子校長）へグランドピアノが寄贈されました。

同校で音楽を担当する佐藤和恵教諭は「とてもきれいなピアノを寄贈していただきました。大切に使いたいです」と寄贈へ感謝。学校でよくピアノの伴奏をする奥寺美里さん（3年生）は「響きがなめらかできれいな音です」と喜びの表情でした。ピアノは希望があった市内の他校にも寄贈される予定です。

ドクターヘリ試験運行

救急現場に医師が出動

ドクターヘリを誘導する久慈消防署員

県は5月8日からのドクターヘリ本格運航の開始に先立ち、運航の流れなどを確認するため、5月1日、平沢空中消火基地で県立久慈病院や久慈広域連合消防本部などの関係機関約70人が参加し試験訓練運航を実施しました。

訓練には、事故現場は地上からの救助が困難という想定で県防災ヘリも参加。久慈消防本部からの要請を受け、矢巾町のヘリポートからドクターヘリが発進し、約20分後には久慈市の現場付近に到着。防災ヘリで収容された傷病者をドクターヘリの医師・看護師に引き継ぎ、現場付近の救急車内で応急処置を行うなど緊張感の中で連携方法を確認しました。

消防本部の立臼勝消防係長は「事故現場で医師が処置できるのは大きい。早期にマニュアルを作成して有効に活用したい」とドクターヘリ導入に期待を寄せました。

上／岩手県防災ヘリ「ひめかみ」も訓練に参加し、隊員はドクターヘリとの連携方法などを確認

下／5月8日からの本格運行に備え、訓練にも余念がない